【養成・採用・研修を通じた大学と学校・教育委員会等の連携の在り方の方向性について】

1．養成と研修の関係

資料2－3

教職課程の枠組み・内容の見直し(例)

枠組み(例3)	履修を要する内容の例
教科の内容及びその構成、教科の指導法	□教科に関する専門的知識・技能 **□教科教育の目標、内容とその構成** **□発達段階に応じた教科の指導計画の立案** **□発達段階に応じた教科の指導方法(情報機器の活用を含む)** **□論理的思考力・考察力・判断力・表現力・課題発見・解決力を育成する指導法** **□教材開発・教材研究** **□演習(事例研究、役割演技、模擬授業等)** **□学習評価の視点と方法** ＊幼は保育内容に関するもの
教職の意義・職務内容の理解及び**実践・実習**	□教職の意義・役割 □教員の職務内容及び法制度(免許、研修、服務、身分保障を含む。) □懲戒と体罰、安全管理 **□教育活動の見学・体験・現地調査** **□教育実習** **□教員免許取得に向けた履修計画(履修カルテ)の作成、進捗確認及び省察**
教育の基礎理論及び制度	□教育の理念、歴史、思想 □公教育・学校教育の目的 □学校制度と教育行政 □社会教育、生涯学習 □心身の発達(家族関係を含む。)と学習の過程 □性格・個性の理解と人間関係(学級集団を含む。) □適応・不適応と欲求
学級活動の理論及び方法	□発達段階に応じた教育課程の編成の意義と方法 □道徳の指導理論・方法 □特別活動の指導理論・方法 □総合的な学習の設計と運営 □論理的思考力・考察力・判断力・表現力・課題発見・解決力を育成する指導法 □様々な授業形態(協働型・双方向型を含む。)
特別支援教育等	□障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程
生徒指導、教育相談及び**社会的・職業的自立のための指導**等	□幼児理解又は生徒指導の理論及び方法 □教育相談の理論及び方法(いじめ・不登校への対応、就学援助・支援、虐待の発見、カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) □社会的・職業的自立のための指導の理論及び方法 □進路指導の理論及び方法 □保護者・地域社会との連携
現代的課題、地域的課題	(大学が設定)
その他特に修得を要する科目	□日本国憲法

公立学校教員の初任者研修　年間研修項目例(小・中学校)(文部科学省作成)

※法律上、初任者研修を受講することとされているのは公立学校の教員のみであることを踏まえ、国公私すべての学校の教員を目指す者に対応した教職課程の内容を考える必要がある。

基礎的素養	学級経営	教科指導	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導・進路指導
2　学習指導要領と教育課程の編成・実施並びに評価 □学習指導要領の法的位置と基準性 □学習指導要領と教育課程の編成実施		**1　基礎技術** □教科指導の基礎技術 **2　授業の進め方** □授業実践に関する技術 □学習指導案の作成 □授業における児童生徒理解 □授業の診断と記録の分析 □教材研究の方法と実際 □教材研究の進め方 □テスト作成と評価の在り方 □教科指導と情報機器の活用 □授業の分析と診断 □個に応じた学習指導の進め方 □学習指導と評価の要点 □教材・教具の作成と活用の仕方 □授業の反省と評価 □年間指導計画の作成 **3　授業参観** □示範授業参観の視点				
4　教員の勤務と公務員としての在り方 □服務、義務 □勤務と給与 □人事異動 **5　学校の組織運営** □関係法令と学校組織 □校務分掌とその機能 □教育環境の整備 □開かれた学校づくり □PTCAの運営 □安全管理・事故防止 **6　教員研修と教員としての生き方在り方** □教員としての心構え □教職観の涵養 □研修と自己成長 □校内研修・研究への参画 **9　教育機関や企業等における体験を通した研修** □体験研修 □課題研究 **10　研修の計画**						
1　公教育の役割と諸課題の解決に向けた取組 □公教育と使命 □教育改革と学校教育の現状 □関係法令と学校目標の実現 □社会教育、家庭教育との関連 □教育施策や事業の展開						
3　学校教育目標の具現化に向けた取組 □学校教育目標と目指す児童生徒像 □学校教育目標と学校経営 □学校教育目標と指導計画 □学校教育目標と教育活動 □学校教育目標と学校評価	**1　学級経営の意義** □学級経営の内容と果たす役割 □学級経営案の作成と活用 □学級経営と学年経営 **2　学級経営の実際と工夫** □学級の組織づくり □教室環境づくり □児童生徒による活動の運営 □児童生徒との関わり方 □学級集団づくり □日常の指導 **3　保護者と連携を図った学級経営** □授業参観と保護者会 □学級通信 □保護者への助言		**1　道徳教育の基礎的理解** □道徳教育の目標や意義 □学校、地域における道徳教育の基本方針 □道徳教育の諸計画の意義とその作成 □他教科・領域等における道徳教育 □「心のノート」の趣旨とその生かし方 **2　道徳の時間の指導** □道徳の主題構想と資料研究 □道徳学習指導案の作成 □道徳における評価の在り方 □示範授業参観 □道徳の授業研究	**1　特別活動の教育的意義** □特別活動の目標 □特別活動の内容 □特別活動の特質 **2　特別活動の指導計画と授業の実際** □全体の指導計画と年間指導計画 □学級活動(1)の指導計画の作成と授業の実際 □学級活動(2)、(3)の指導計画の作成と授業の実際 **3　学級活動の指導と評価の工夫改善** □学級活動(1)の指導と評価の工夫 □計画委員会の指導と評価の工夫 □係の活動の指導と評価の工夫 □集会の活動の指導と評価の工夫 □学級活動(2)、(3)の指導と評価の工夫 **4　児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の指導と評価の工夫改善** □児童会活動、生徒会活動 □クラブ活動	**1　趣旨・ねらい** □総合的な学習の時間の趣旨 □総合的な学習の時間のねらい **2　全体計画の作成** □全体計画作成の必要性 □全体計画の内容と取扱い **3　学習活動の進め方** □学習活動の展開 □体験的・問題解決的な学習 □学習形態、指導体制の工夫 □地域の教育資源の活用 □国際理解・外国語会話等の学習活動 **4　評価の特質と評価方法** □評価の特質	
8　特別支援教育の制度と具体的な取組 □特別な教育的ニーズと指導 □特別支援教育体制の整備と活用 □特別支援教育の制度						
						1　生徒指導 □生徒指導の意義 □児童生徒理解の内容と方法 □教員と児童生徒の人間関係 □児童生徒の営め方・叱り方 □ガイダンスの機能と教育相談の充実 □社会奉仕体験活動等、体験活動の意義と進め方 □児童生徒の健全育成の取組 □問題行動等に関する事例研究 □学校における生徒指導体制 □家庭・地域や関係機関との連携 □生徒指導の反省と評価 **2　進路指導** □進路指導(キャリア教育)の意義 □進路指導(キャリア教育)の展開と事例研究 □進路情報の収集と活用 □職業や進路にかかわる啓発的な体験活動の指導の実際 □学校における進路指導(キャリア教育)体制 □ガイダンスの機能と教育相談の充実 □家庭・地域や関係機関との連携 □進路指導(キャリア教育)の反省と評価
7　教育課題の解決に向けた取組 □人権教育 □環境教育 □教育の情報化等への対応 □教育の国際化等への対応 □帰国・外国人児童生徒教育への対応 □学校保健、安全指導の進め方 □職に関する指導の進め方(給食指導を含む。)						
	4　学級事務の処理 □年度当初、各学期当初の学級事務 □成績等に関わる諸表簿の作成などの学級事務 □各学期末、年度末の学級事務 □学級事務と情報処理の活用					